

社会資本総合整備計画の 事後評価について

(社会資本整備総合交付金事業)

『湘南のひかり輝く海・まちを
未来へつなぐ下水道』

(防災・安全交付金事業)

『湘南のひかり輝く海・まちを
未来へつなぐ下水道（防災・安全）』

2017年3月

神奈川県 藤沢市

目次

1) 社会資本整備総合交付金事業について.....	3
2) 事後評価について	5
() 交付対象事業の進捗状況に関すること	9
() 定量的指標の達成状況に関すること	23
() 事業効果の発現状況に関すること	50
() 今後の方針等に関すること	55

1) 社会資本整備総合交付金事業について

これまで

個別補助金

道路事業費補助

下水道事業費補助

公園費補助

...

まちづくり交付金
(まちづくり)

原則一括化
(平成22年度)

国へ提出

事業の実施

事後評価の実施

社会資本整備総合交付金

社会資本総合整備計画

社会資本総合整備計画(防災・安全)

インフラの整備
基幹事業

道路事業

下水道事業

公園事業

...

都市再生整備計画事業

関連する事業

効果を促進するための事業

2) 事後評価について

- 社会資本整備総合交付金事業
湘南のひかり輝く海・まちを
未来へつなぐ下水道
- 防災・安全交付金事業
湘南のひかり輝く海・まちを
未来へつなぐ下水道（防災・安全）

社会資本総合整備計画の変更について

1. 平成23年度【当初】

社会資本総合整備計画

H23 H24 H25 H26 H27



定量的指標

床上浸水被害対策率
下水道処理人口普及率
合流式下水道改善率
下水道管渠長寿命化計画策定率
処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率



H25年度
防災安全交付金創設に伴う変更

2. 平成25年度【変更】

社会資本総合整備計画

H23 H24 H25 H26 H27



床上浸水被害対策率
下水道処理人口普及率
合流式下水道改善率
下水道管渠長寿命化計画策定率
処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率

社会資本総合整備計画（防災・安全）

H23 H24 H25 H26 H27



床上浸水被害対策率
合流式下水道改善率
下水道管渠長寿命化計画策定率
処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率
重要な管渠の地震対策率
重要なマンホールの地震対策率
処理場・ポンプ場地震対策率

「社会資本総合整備計画」の成果目標

■ 計画の目標

藤沢市公共下水道事業は5つの目標に向け、事業を推進します

安全・安心なまちづくりへの貢献

湘南の自然環境との共生

地域から取り組む地球環境保全

快適で潤いあるまちづくりへの貢献

自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ

事後評価で掲げる事項

- () 交付対象事業の進捗状況に関する事
- () 定量的指標の達成状況に関する事
- () 事業効果の発現状況に関する事
- () 今後の方針等に関する事

2) 事後評価について

() 交付対象事業の進捗状況に関すること

(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（H23～H27）

➤ 南部処理区（1）

（単位：百万円）

事業及び 施設種別	省略 工種	事業名	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計	進捗 状況
合流	新設	鵜沼東部地区貯留管整備	931	477	1,408	完了
合流	新設	鵜沼南部地区貯留管整備	-	40	40	事業中
合流	新設	辻堂南部地区主要な管渠整備	-	8	8	事業中
浄化センター	改築	辻堂浄化センター-地震対策	12	179	191	事業中
浄化センター	改築	辻堂浄化センター-改築更新	215	1,298	1,513	事業中
ポンプ場	改築	南部処理区ポンプ場地震対策	6	28	34	事業中
ポンプ場	改築	南部処理区ポンプ場改築更新	126	8	134	事業中
合流	改築	長寿命化計画策定(管渠)	10	45	55	事業中

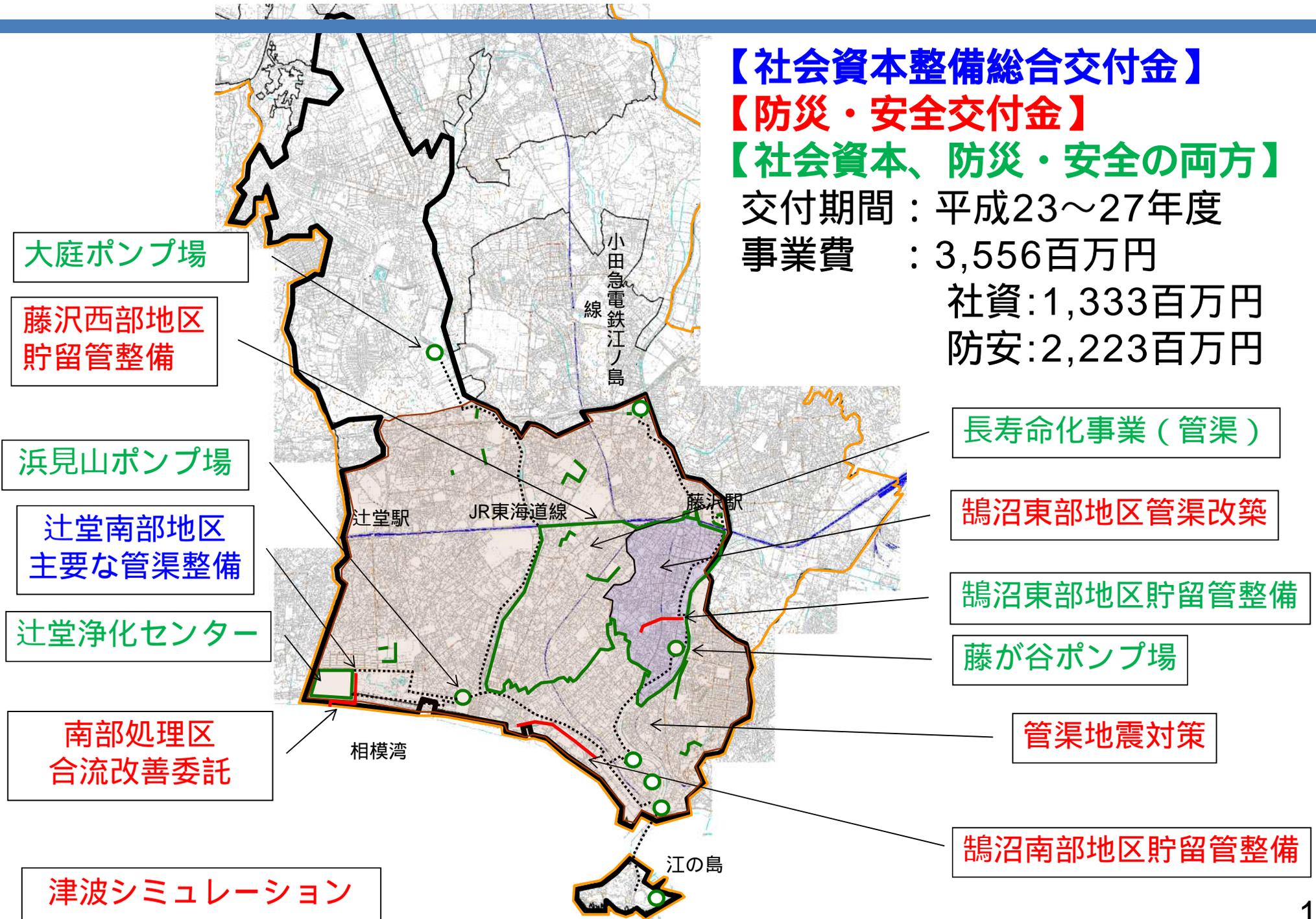
(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（H23～H27）

➤ 南部処理区（2）

（単位：百万円）

事業及び 施設種別	省略 工種	事業名	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計	進捗 状況
浄化センター ポンプ場	改築	長寿命化計画策定(施設)	27	-	27	完了
合流	改築	鵜沼東部地区管渠改築	-	0	0	事業中
合流	新設	藤沢西部貯留管整備	6	-	6	完了
合流	改築	管渠地震対策	-	122	122	事業中
浄化センター	増設	辻堂浄化センター発電機増設	-	0	0	事業中
浄化センター ポンプ場 合流	改築 新設	津波シミュレーション	-	7	7	事業中
浄化センター	新設	南部処理区合流改善委託	-	11	11	事業中
		計	1,333	2,223	3,556	

(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（南部処理区）



(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（H23～H27）

➤ 東部処理区（1）

（単位：百万円）

事業及び 施設種別	省略 工種	事業名	事業費 社会資本 (百万円)	事業費 防災安全 (百万円)	事業費 合計 (百万円)	進捗 状況
雨水	新設	不動前地区主要な管渠整備(雨水)	69	496	565	完了
雨水	新設	山野神地区主要な管渠整備(雨水)	202	83	285	事業中
雨水	新設	土棚地区主要な管渠整備(雨水)	10	-	10	完了
雨水	新設	湘南台西地区主要な管渠整備(雨水)	270	-	270	事業中
汚水	新設	湘南台西地区主要な管渠整備(汚水)	94	-	94	事業中
浄化センター	改築	大清水浄化センター-地震対策	17	129	146	事業中
浄化センター	改築	大清水浄化センター-改築更新	354	-	354	完了
ポンプ場	改築	東部処理区ポンプ場改築更新	359	-	359	完了

(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】(H23~H27)

➤ 東部処理区(2)

(単位：百万円)

事業及び 施設種別	省略 工種	事業名	事業費 社会資本 (百万円)	事業費 防災安全 (百万円)	事業費 合計 (百万円)	進捗 状況
浄化センター ポンプ場	改築	長寿命化計画策定(施設)	22	15	39	完了
		計	1,397	723	2,120	

(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（東部処理区）

湘南台西地区主要な
管渠整備(雨水・汚水)

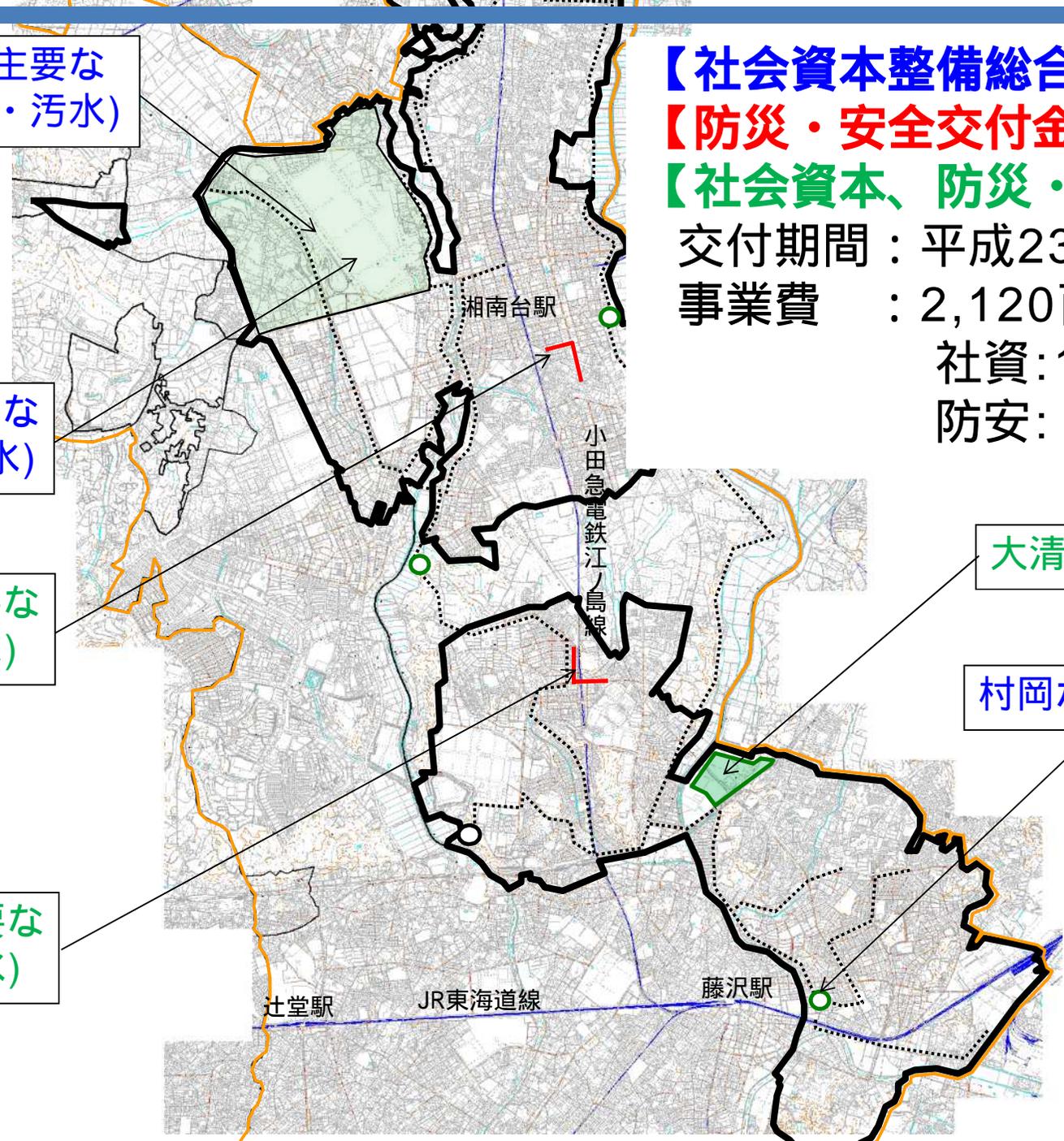
土棚地区主要な
管渠整備(雨水)

不動前地区主要な
管渠整備(雨水)

山野神地区主要な
管渠整備(雨水)

【社会資本整備総合交付金】
【防災・安全交付金】
【社会資本、防災・安全の両方】

交付期間：平成23～27年度
事業費：2,120百万円
社資：1,397百万円
防安：723百万円



(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】(H23~H27)

➤ 相模川流域処理区

(単位：百万円)

事業及び 施設種別	省略 工種	事業名	事業費 社会資本 (百万円)	事業費 防災安全 (百万円)	事業費 合計 (百万円)	進捗 状況
汚水	新設	遠藤地区主要な管渠整備(汚水)	121	-	121	完了
汚水	新設	御所見地区主要な管渠整備(汚水)	332	-	332	事業 中
汚水	新設	用田地区主要な管渠整備(汚水)	4	-	4	事業 中
		計	457	-	457	

(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】(相模川流域処理区)

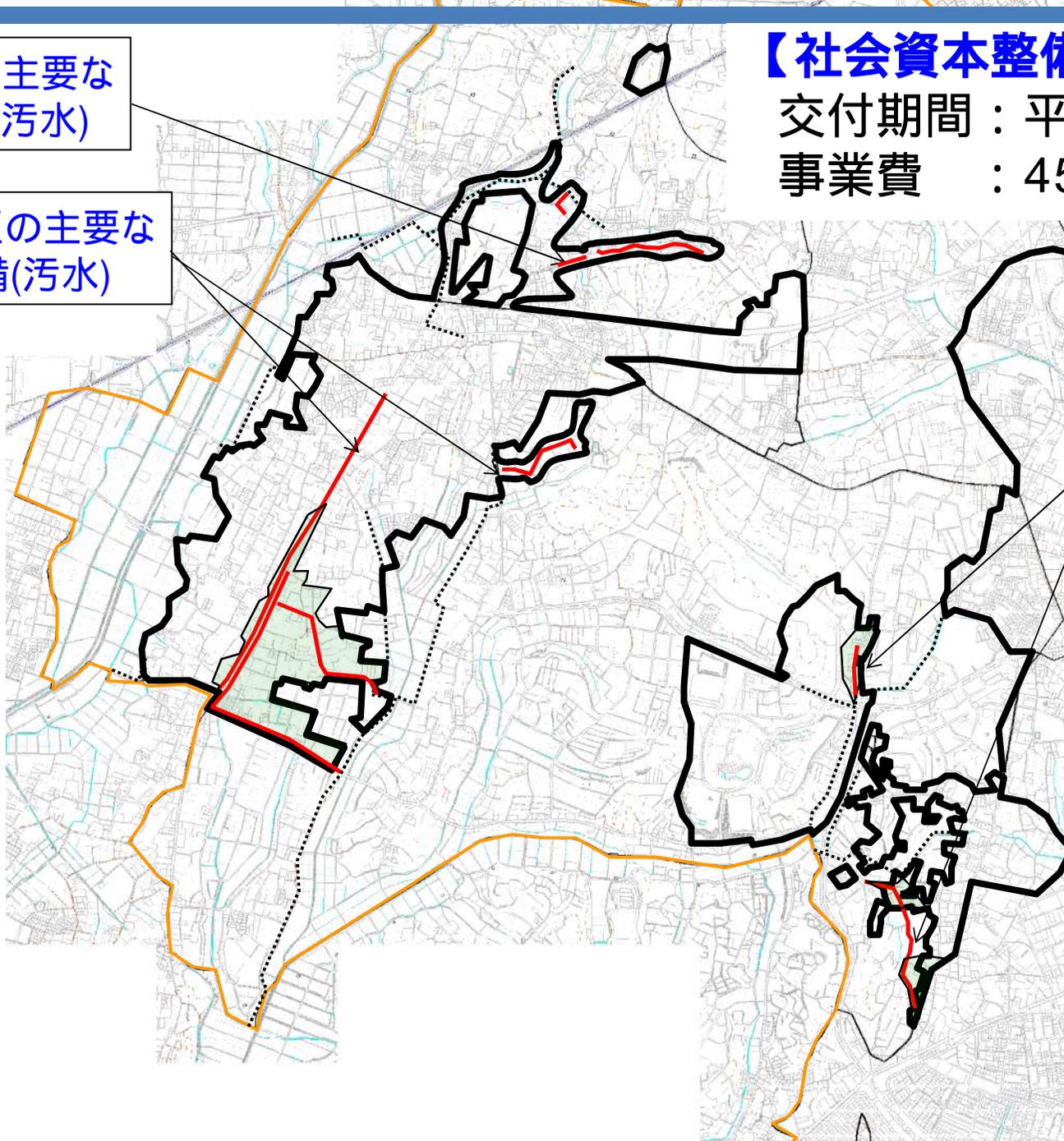
用田地区の主要な
管渠整備(汚水)

御所見地区の主要な
管渠整備(汚水)

【社会資本整備総合交付金】

交付期間：平成23～27年度
事業費：457百万円

遠藤地区の主要な
管渠整備(汚水)



(i) 交付対象事業の進捗状況【基幹事業】（H23～H27）

➤ 南部・東部・相模川流域処理区 基幹事業費計

（単位：百万円）

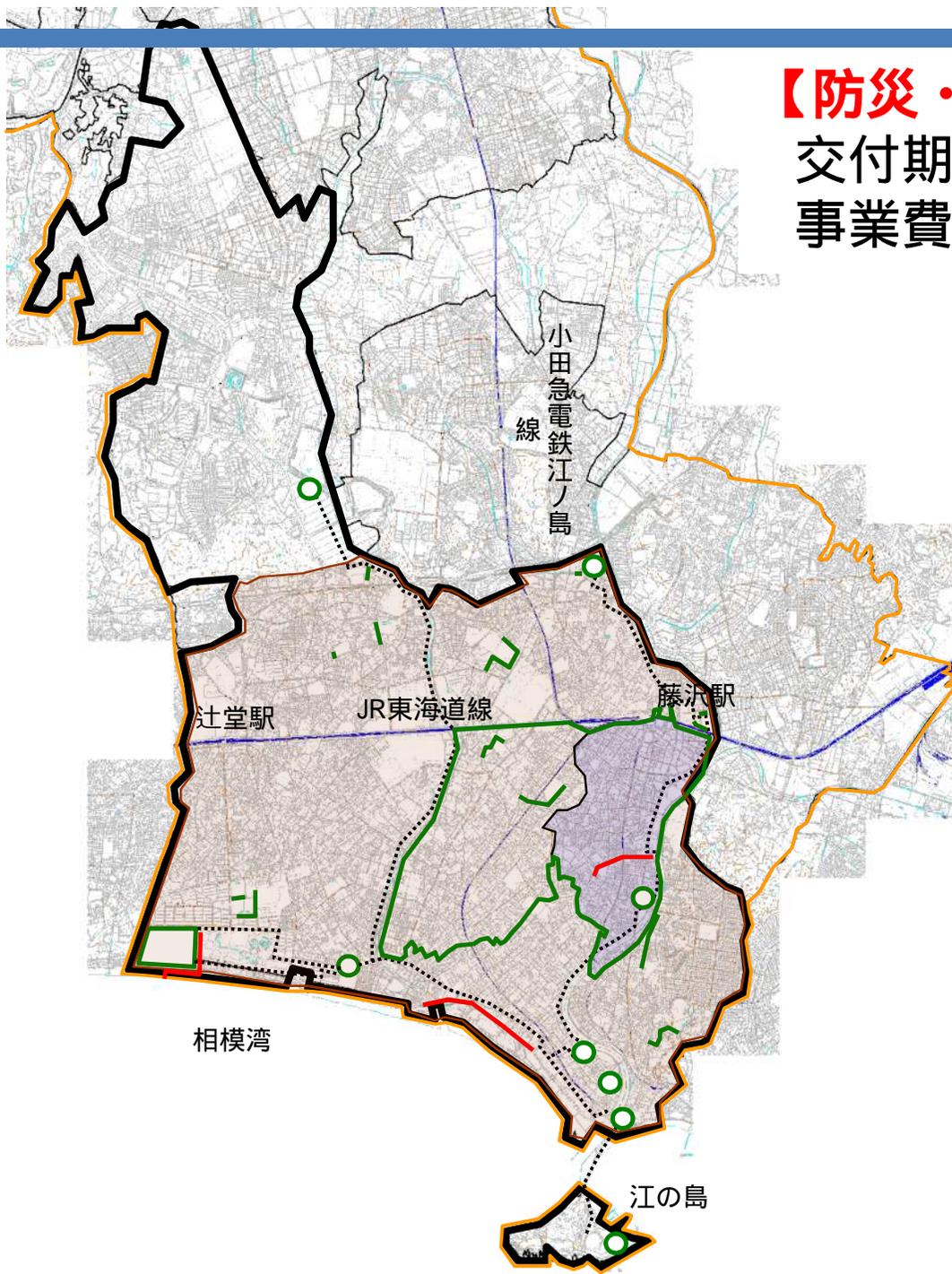
処理区名	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計
南部処理区	1,333	2,223	3,556
東部処理区	1,397	723	2,120
相模川流域処理区	457	-	457
合計	3,187	2,946	6,133

(i) 交付対象事業の進捗状況【効果促進事業】(H23～H27)

(単位：百万円)

省略工種	事業名(東部処理区)	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計	進捗状況
新設	湘南台西地区枝線管渠整備(雨水)	89	-	89	事業中
新設	湘南台西地区枝線管渠整備(污水)	79	-	79	事業中
	計	168	-	168	
省略工種	事業名(相模川流域処理区)	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計	進捗状況
新設	遠藤地区枝線管渠整備(污水)	15	-	15	完了
新設	御所見地区枝線管渠整備(污水)	80	-	80	事業中
新設	用田地区枝線管渠整備(污水)	0	-	0	未着手
	計	95	-	95	
省略工種	事業名(市全域)	事業費 社会資本	事業費 防災安全	事業費 合計	進捗状況
新設	藤沢市域全体 地震対策	-	37	37	事業中
	計	-	37	37	
	合計	263	37	300	

(i) 交付対象事業の進捗状況【効果促進事業】（南部処理区）



【防災・安全交付金】

交付期間：平成23～27年度

事業費：37百万円(市域全域)

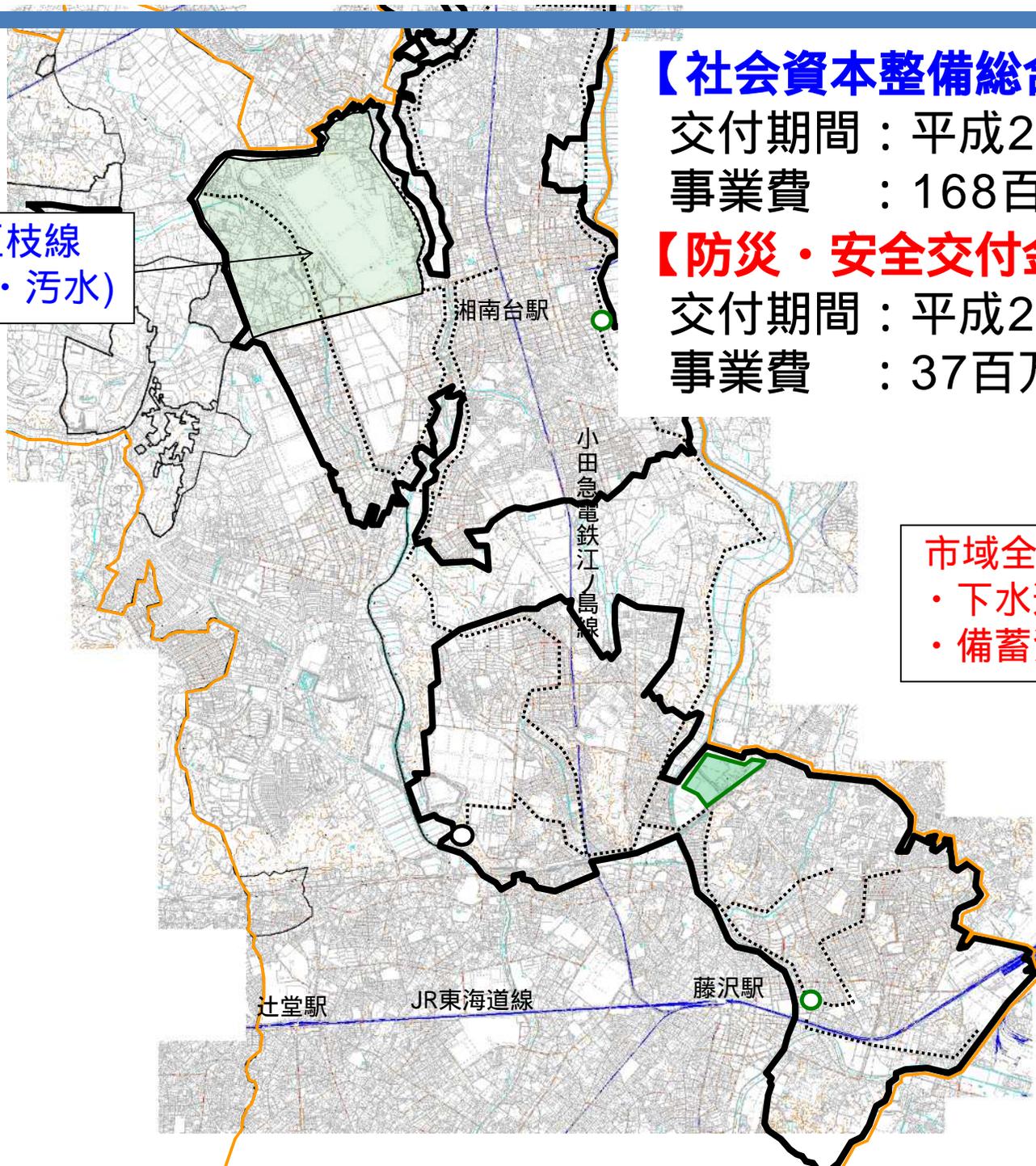
市域全域 地震対策

・下水道BCP策定

・備蓄資機材

(i) 交付対象事業の進捗状況【効果促進事業】(東部処理区)

湘南台西地区枝線
管渠整備(雨水・汚水)



【社会資本整備総合交付金】

交付期間：平成23～27年度

事業費：168百万円

【防災・安全交付金】

交付期間：平成23～27年度

事業費：37百万円(市域全域)

市域全域 地震対策

・下水道BCP策定

・備蓄資機材

(i) 交付対象事業の進捗状況【効果促進事業】(相模川流域処理区)

【社会資本整備総合交付金】

交付期間：平成23～27年度

事業費：95百万円

【防災・安全交付金】

交付期間：平成23～27年度

事業費：37百万円(市域全域)

御所見地区の枝線
管渠整備(汚水)

遠藤地区の枝線
管渠整備(汚水)

市域全域 地震対策
・下水道BCP策定
・備蓄資機材

2) 事後評価について

() 定量的指標の達成状況に関すること

(ii) 定量的指標の達成状況

➤ 事後評価書

社会資本整備総合交付金

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 3 月 日

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道		交付対象	藤沢市																																	
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）																																				
計画の目標	藤沢市公共下水道事業は5つの目標に向け、事業を推進いたします。 ●安全・安心なまちづくりへの貢献 ●湘南の自然環境との共生 ●地域から取り組む ●快適で潤いあるまちづくりへの貢献 ●自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ																																				
計画の成果目標（定量的指標）	①床上浸水被害対策率を13.2%(H23)から14.0%(H27)に増加させる。 ②下水道処理人口普及率を94.5%(H22)から95.2%(H27)に増加させる。 ③合流式下水道改善率を23.4%(H23)から37.4%(H27)に増加させる。 ④下水道管渠長寿命化計画策定率を0%(H23)から66.7%(H27)に増加させる。 ⑤処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%(H23)から48.1%(H27)に増加させる。																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 床上浸水被害対策率 浸水対策の実施により解消される家屋数/床上浸水家屋数（戸数）</td> <td>13.2%</td> <td>14.0%</td> <td>14.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/行政人口（人）</td> <td>94.5%</td> <td>94.9%</td> <td>95.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 合流式下水道改善率 対策済み汚濁負荷量(t/年)/必要対策汚濁負荷量(t/年)</td> <td>23.4%</td> <td>37.4%</td> <td>37.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 下水道管渠長寿命化計画策定率 計画策定区域数(地区数)/下水道事業計画区域数(地区数)</td> <td>0.0%</td> <td>33.3%</td> <td>66.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの施設数(箇所)/長寿命化計画を策定すべき施設数(箇所)</td> <td>0.0%</td> <td>48.1%</td> <td>48.1%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	① 床上浸水被害対策率 浸水対策の実施により解消される家屋数/床上浸水家屋数（戸数）	13.2%	14.0%	14.0%		② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/行政人口（人）	94.5%	94.9%	95.2%		③ 合流式下水道改善率 対策済み汚濁負荷量(t/年)/必要対策汚濁負荷量(t/年)	23.4%	37.4%	37.4%		④ 下水道管渠長寿命化計画策定率 計画策定区域数(地区数)/下水道事業計画区域数(地区数)	0.0%	33.3%	66.7%		⑤ 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの施設数(箇所)/長寿命化計画を策定すべき施設数(箇所)	0.0%	48.1%	48.1%		
	定量的指標の現況及び目標値				備考																																
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																		
① 床上浸水被害対策率 浸水対策の実施により解消される家屋数/床上浸水家屋数（戸数）	13.2%	14.0%	14.0%																																		
② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/行政人口（人）	94.5%	94.9%	95.2%																																		
③ 合流式下水道改善率 対策済み汚濁負荷量(t/年)/必要対策汚濁負荷量(t/年)	23.4%	37.4%	37.4%																																		
④ 下水道管渠長寿命化計画策定率 計画策定区域数(地区数)/下水道事業計画区域数(地区数)	0.0%	33.3%	66.7%																																		
⑤ 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの施設数(箇所)/長寿命化計画を策定すべき施設数(箇所)	0.0%	48.1%	48.1%																																		

定量的指標 当初(H23) 最終目標(H27)

定量的指標の定義及び算定式

➤ 事後評価書

社会資本整備総合交付金

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 鶴沼東部地区において、床上浸水被害対策を実施した結果、未普及地域において、污水管整備を行うことにより単独 ・ 雨天時における初期汚濁を貯留し、晴天時に処理場で処理 ・ 下水道管渠の長寿命化計画を策定したことにより今後、 ・ 長寿命化計画に基づく処理場・ポンプ場における設備工事（機械・電気）を実施することで、機能停止リスク低減等の効果が発現した。		
II 定量的指標の達成状況	指標①床上浸水被害対策率	最終目標値	14.0%	目標値と実績値に差が出た要因 適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
		最終実績値	14.0%	
	指標②下水道処理普及率	最終目標値	95.2%	目標値と実績値に差が出た要因 効率的に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
		最終実績値	95.4%	

定量的指標の達成状況

「社会資本総合整備計画」の定量的指標

■ 当初設定した定量的指標

床上浸水被害対策率	13.2%(H23)	14.0%(H27)
下水道処理人口普及率	94.5%(H23)	95.2%(H27)
合流式下水道改善率	23.4%(H23)	37.4%(H27)
下水道管渠長寿命化計画策定率	0.0%(H23)	66.7%(H27)
処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率	0.0%(H23)	48.1%(H27)
重要な管渠の地震対策率	0.0%(H23)	34.5%(H27)
重要なマンホールの地震対策率	0.0%(H23)	50.0%(H27)
処理場・ポンプ場地震対策率	0.0%(H23)	31.6%(H27)

(注1)指標 ， ～ は、H23年度、H24年度に社会資本整備総合交付金で事業を実施し、H25年度～H27年度は防災・安全交付金で事業を実施した。

(注2)指標 は、H23年度～H27年度に社会資本整備総合交付金で事業を実施した。

指標 床上浸水被害対策率

床上浸水被害対策率

強雨時における床上浸水被害を軽減するため、
鶺沼東部地区における**貯留管の整備**に取り組みま
した。

事業箇所



鶺沼東部1号
貯留管
シールドマシン

鶺沼東部1号
貯留管
=3,500mm
L=650m
V=6,010m³



指標 床上浸水被害対策率

定義

浸水対策の実施により解消される家屋数 / 床上浸水家屋数 (242戸)

当初現況値
(H23年度当初)
13.2%
(32戸/242戸)

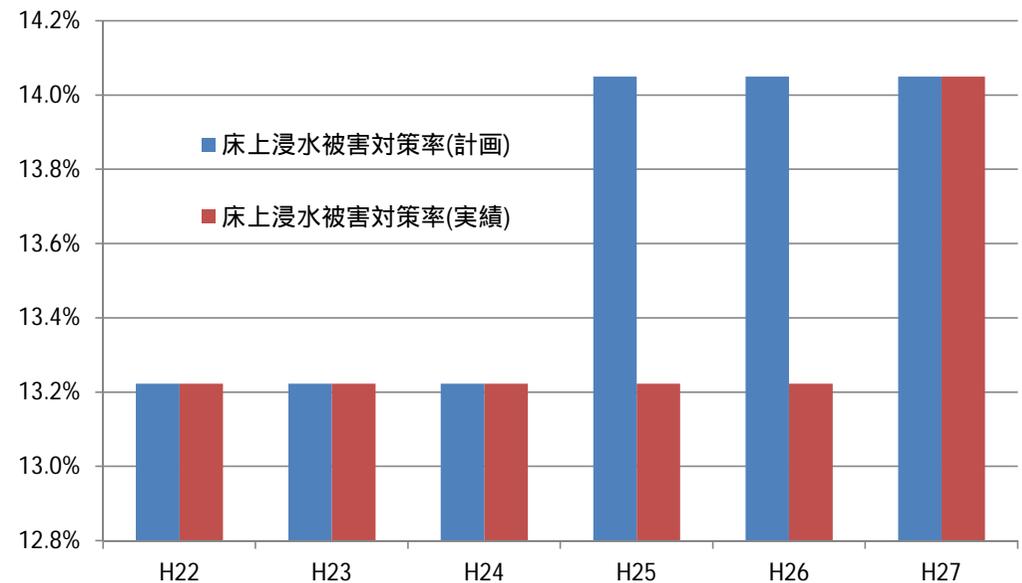


最終目標値
(H27年度末)
14.0%
(34戸/242戸)

=

最終実績値
(H27年度末)
14.0%
(34戸/242戸)

- 目標値と実績値に差が出た要因
適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
- 主な事業内容
 - ・ 鵜沼東部1号貯留管築造事業

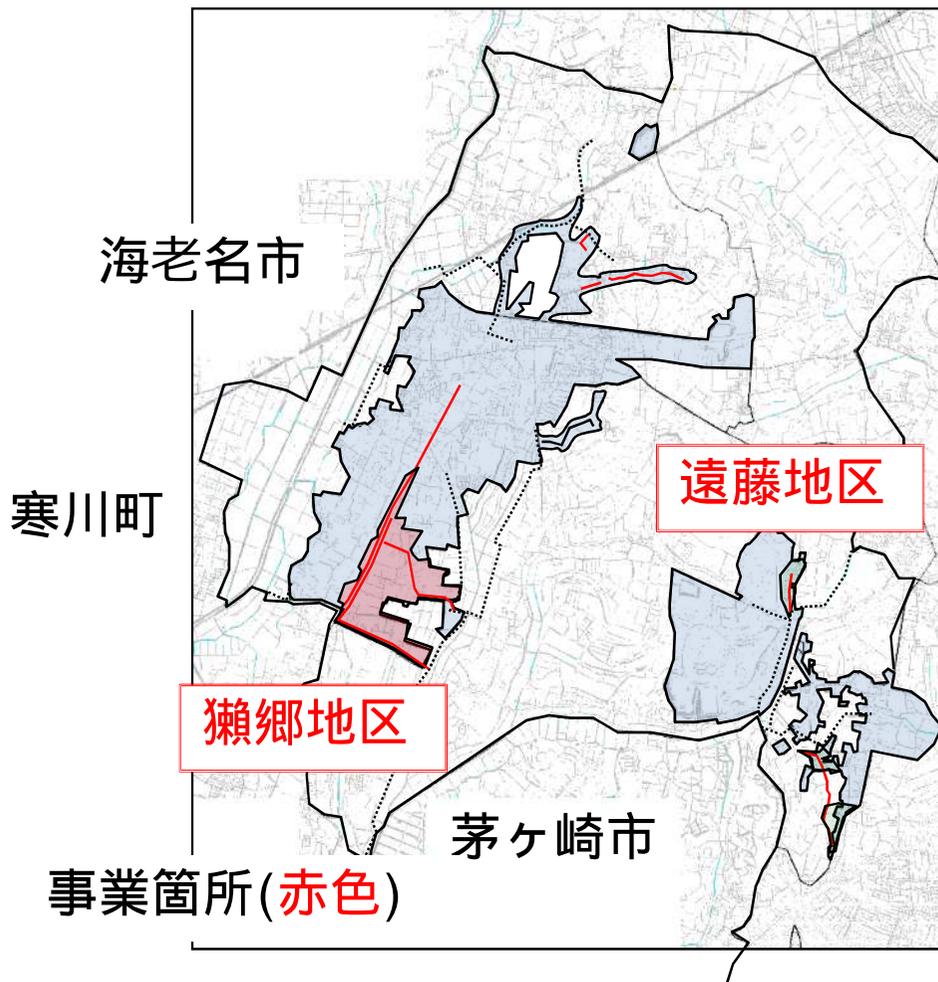


指標 下水道処理人口普及率

下水道処理人口普及率

快適な生活環境を創造するため、**公共下水道の整備**に取り組みました。

主な事業箇所



現地状況



平成23年度
遠藤地内汚水管渠築造工事
=200mm
L=1,136.76m

平成26年度
瀬郷地内汚水管渠築造工事
=200mm
L=686.08m



指標 下水道処理人口普及率

定義

下水道を利用できる人口(人) / 行政人口(人)

当初現況値
(H23年度当初)
94.5%
(382,553人
/404,808人)



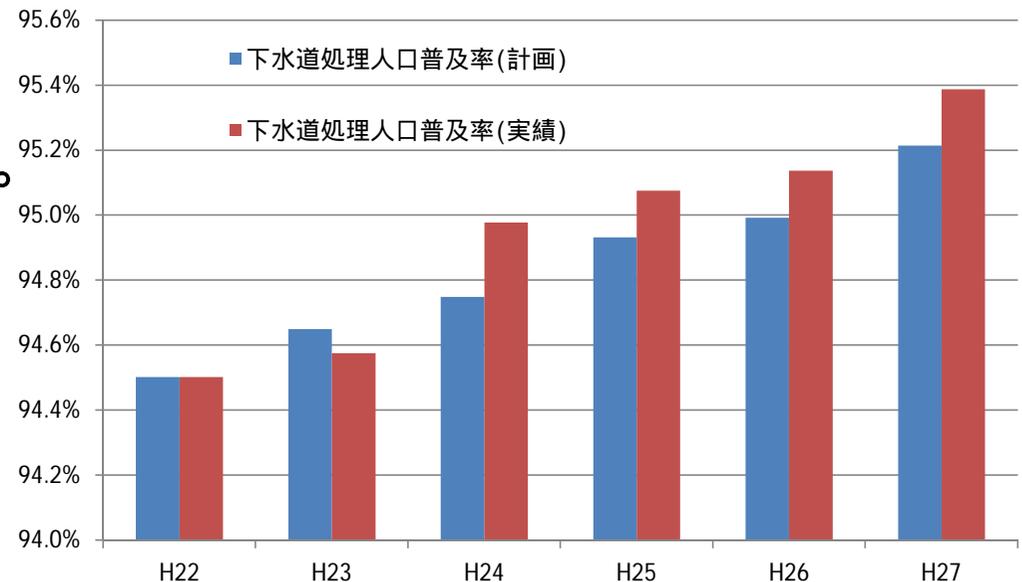
最終目標値
(H27年度末)
95.2%
(385,437人
/404,808人)

<

最終実績値
(H27年度末)
95.4%
(406,780人
/426,450人)

- 目標値と実績値に差が出た要因
効率的に事業執行したことから、
最終目標値とほぼ同じ値になった。

- 主な事業内容
 - ・遠藤地内污水管渠築造工事
 - ・瀬郷地内污水管渠築造工事



指標 合流式下水道改善率

合流式下水道改善率

本市の財産である湘南海岸の環境を保全するため、**合流式下水道の改善対策**に取り組みました。

事業箇所



■ …貯留管 ■ …導水管
↑ H26供用開始



鵜沼東部1号
貯留管
シールドマシン

鵜沼東部1号
貯留管
= 3,500mm
L = 650m
V = 6,010m³



指標 合流式下水道改善率

定義

対策済み汚濁負荷量 (t / 年) / 必要対策汚濁負荷量 (80.5 t / 年)

当初現況値
(H23年度当初)
23.4%
(18.8t/年
/80.5t/年)

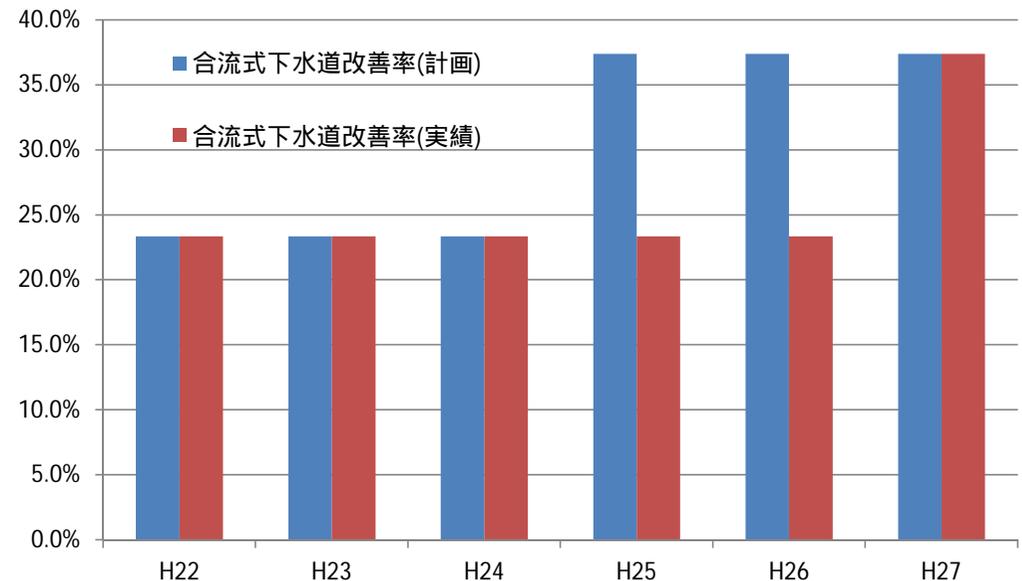


最終目標値
(H27年度末)
37.4%
(30.1t/年
/80.5t/年)

=

最終実績値
(H27年度末)
37.4%
(30.1t/年
80.5t/年)

- 目標値と実績値に差が出た要因
適切に事業執行したことから、
最終目標値と同じ値になった。
- 主な事業内容
 - ・ 鵜沼 1 号貯留管築造工事

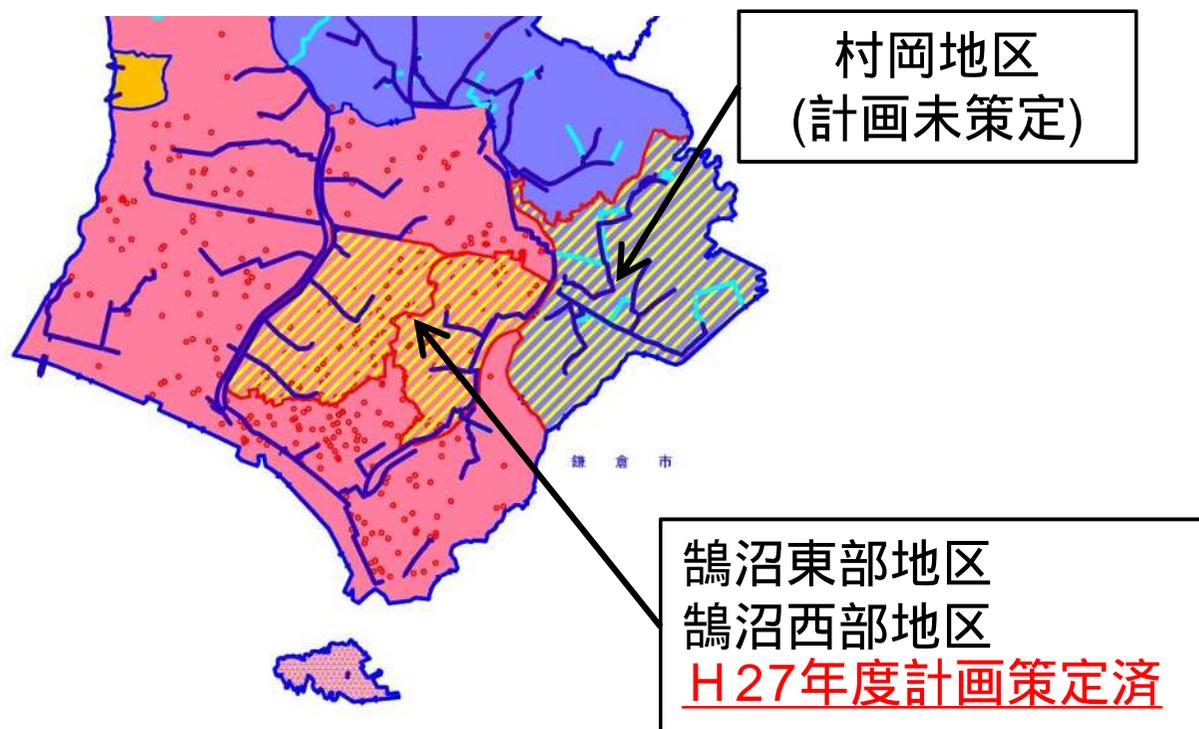


指標 下水道管渠長寿命化計画策定率

下水道管渠長寿命化計画策定率

下水道管渠の老朽化に起因する道路陥没を未然に防ぐため、**下水道管渠長寿命化対策**に着手しました。

長寿命化対策重点地区位置図



本市では、既設の管渠を調査し、劣化度・重要度から優先的に実施する対策重点地区における長寿命化計画を策定しました。

指標 下水道管渠長寿命化計画策定率

定義

計画策定区域数（地区数） / 下水道事業計画区域数（3地区）

当初現況値
（H23年度当初）
0.0%
（0地区/3地区）

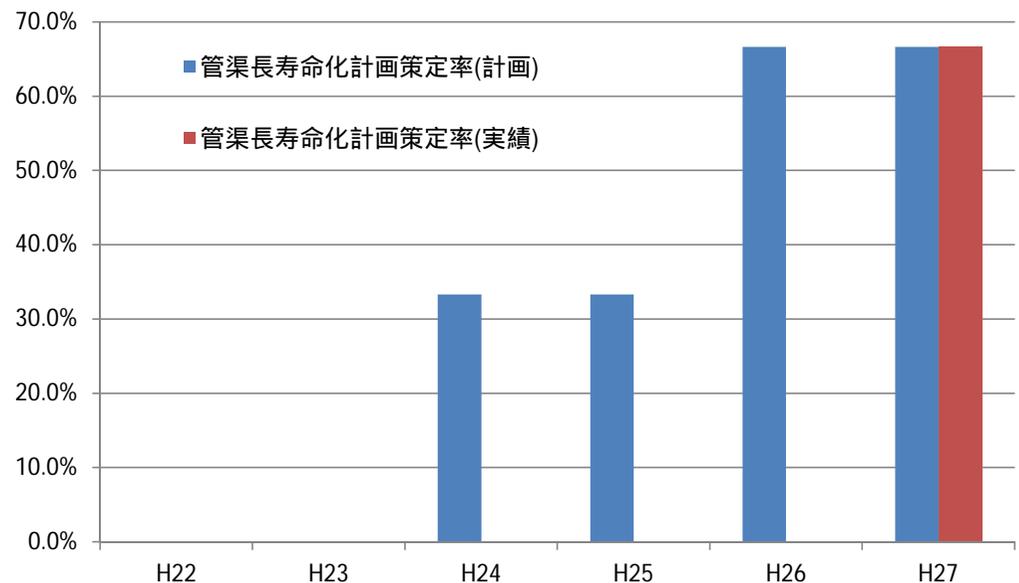


最終目標値
（H27年度末）
66.7%
（2地区/3地区）

=

最終実績値
（H27年度末）
66.7%
（2地区/3地区）

- 目標値と実績値に差が出た要因
適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
- 主な事業内容
 - ・藤沢市下水道長寿命化計画策定

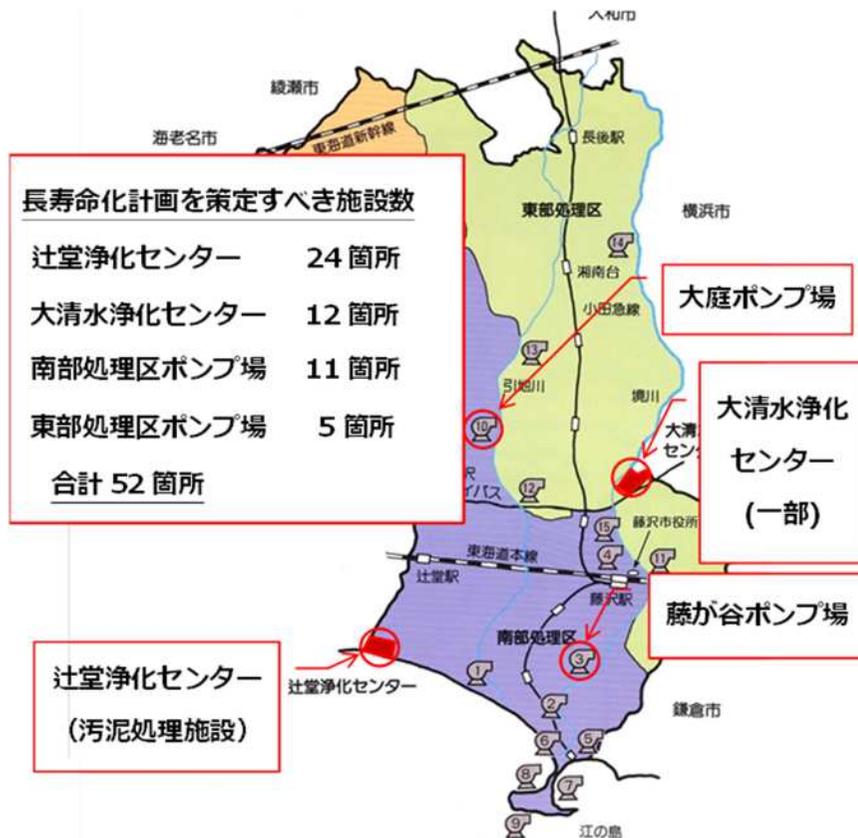


指標 処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率

処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率

日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす、処理場やポンプ場の事故発生や機能停止を未然に防止するため、**長寿命化対策**に取り組みました。

長寿命化対策施設位置図



本市では、2つの処理場、2つのポンプ場について、長寿命化計画を策定し、対策を進めております。



辻堂浄化センター2号焼却炉

指標 処理場・ポンプ場長寿命化計画策定率

定義

長寿命化計画策定済みの施設数（箇所）
/ 長寿命化計画策定すべき施設数（52箇所）

当初現況値
（H23年度当初）
0.0%
（0箇所/52箇所）



最終目標値
（H27年度末）
48.1%
（25箇所/52箇所）

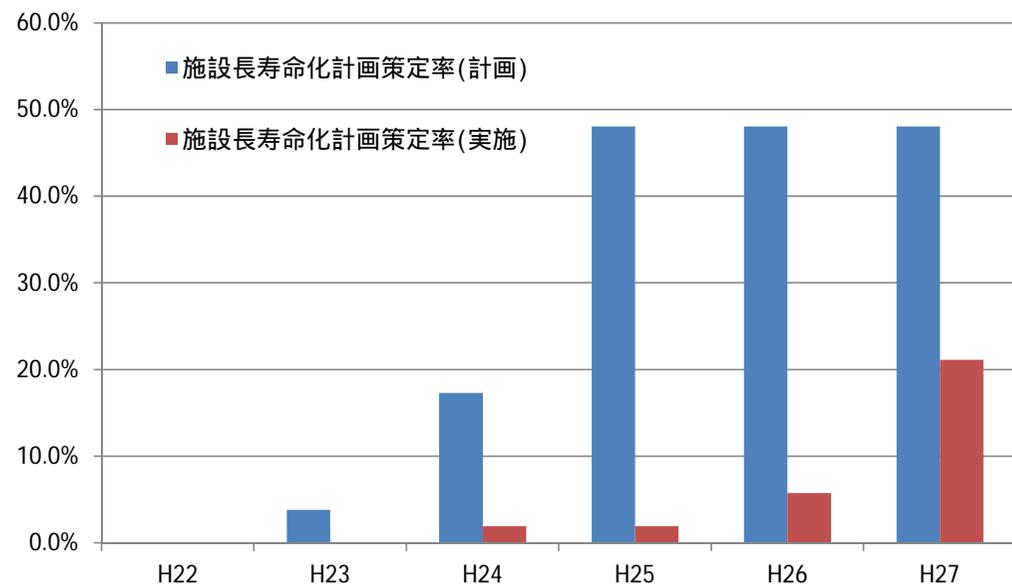
>

最終実績値
（H27年度末）
21.2%
（11箇所/52箇所）

- 目標値と実績値に差が出た要因
経過年数やリスク評価（被害規模、発生確率）による判定を行った結果、優先度の高い施設から実施していったため最終目標値に至らなかった。

- 主な事業内容

- 藤沢市下水道長寿命化計画策定



指標 重要な管渠の地震対策率

重要な管渠の地震対策率

市役所・市民病院及び避難施設からの流末管路などの重要な管渠のうち、重要度や危険度を考慮し、策定した下水道総合地震対策計画に基づき**管路の地震対策事業**に着手しております。

管渠調査実施箇所



下水道管渠調査

調査写真



藤沢市下水道管渠耐震診断調査委託(その2)
路線番号100
H-P φ500 MHNO.100-2~105-1

指標 重要な管渠の地震対策率

定義

耐震対策済み管渠延長 (km) / 重要な管渠延長 (2.9 km)

当初現況値
(H23年度当初)
0.0%
(0.0km / 2.9km)

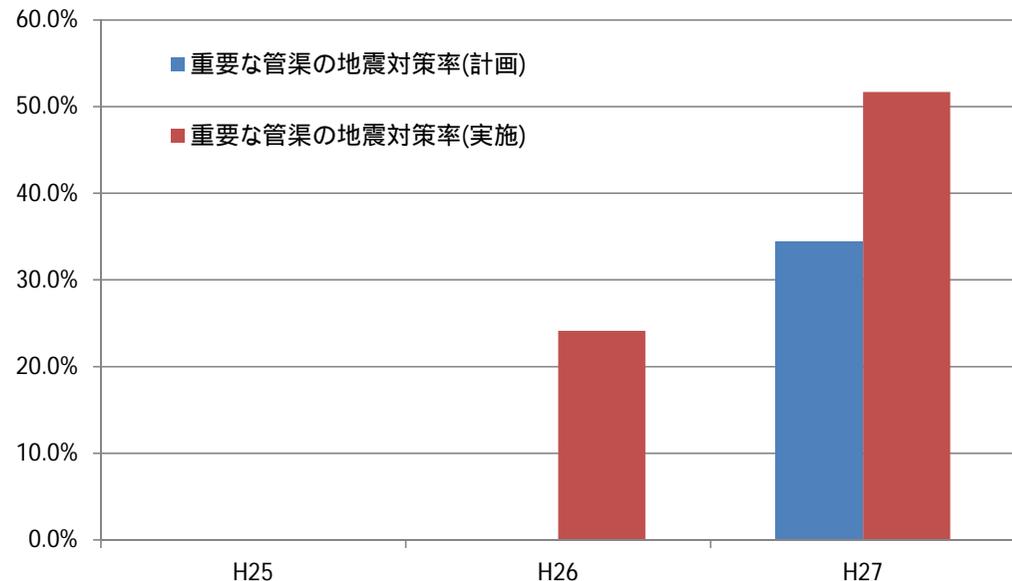


最終目標値
(H27年度末)
34.5%
(1.0km / 2.9km)

<

最終実績値
(H27年度末)
55.1%
(1.6km / 2.9km)

- 目標値と実績値に差が出た要因
重要な管渠の耐震調査結果より、耐震性能を有している管渠を耐震対策済み延長としたことから最終目標値を上回った。
- 主な事業内容
 - ・下水道管きょ耐震診断調査委託



指標 重要なマンホールの地震対策率

重要なマンホールの地震対策率

緊急輸送道路下に埋設されている管路の被災による重大な交通障害の防止のため、**マンホールの浮上防止対策**に着手しました。

緊急輸送道路位置図



調査対象範囲

凡例
緊急輸送道路
整備済避難路



東日本大震災におけるマンホール浮上
(千葉市HPより引用)

指標 重要なマンホールの地震対策率

定義

耐震対策済みマンホール数（基） / 重要なマンホール数（1,064基）

当初現況値
（H23年度当初）
0.0%
（0基/1,064基）

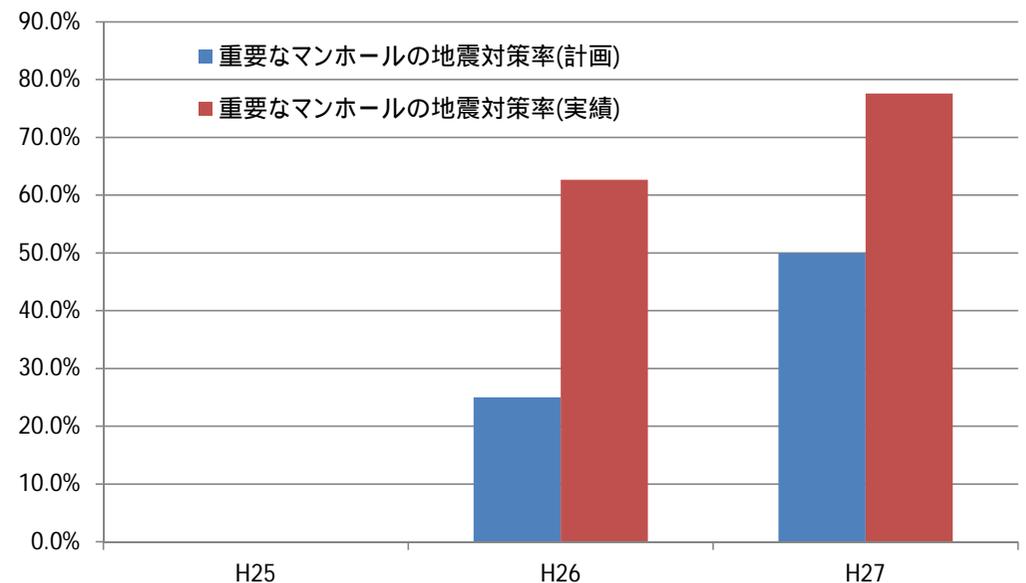


最終目標値
（H27年度末）
50.0%
（532基/1,064基）

<

最終実績値
（H27年度末）
77.6%
（826基/1,064基）

- 目標値と実績値に差が出た要因
効率的に事業執行を行い、既設マンホールの調査により浮上対策工事が不要となる箇所が多くなったことから、最終目標値を上回った。
- 主な事業内容
 - ・マンホール浮上防止対策工事



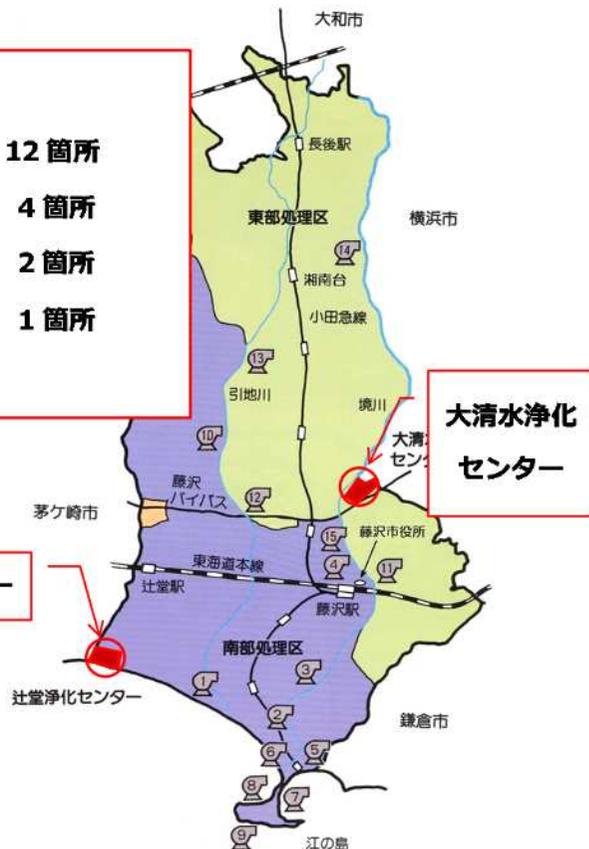
指標 処理場・ポンプ場地震対策率

処理場・ポンプ場地震対策率

浄化センター・ポンプ場での人的被害・二次災害の未然防止と未処理下水の流出による公共用水域の汚染防止のため、**処理場・ポンプ場の地震対策**に取り組みました。

耐震化すべき施設数

辻堂浄化センター	12 箇所
大清水浄化センター	4 箇所
南部処理区ポンプ場	2 箇所
東部処理区ポンプ場	1 箇所
合計 19 箇所	



大清水浄化センター
管理棟耐震
補強工事

壁の増し厚工事

辻堂浄化センター
水処理施設 4～5 系
エキスパンション
ジョイント補強



エキスパンション
ジョイント補強

指標 処理場・ポンプ場地震対策率

定義

耐震対策済み施設（箇所） / 耐震化すべき施設（19箇所）

当初現況値
（H23年度当初）
0.0%
（0箇所/19箇所）



最終目標値
（H27年度末）
31.6%
（6箇所/19箇所）

>

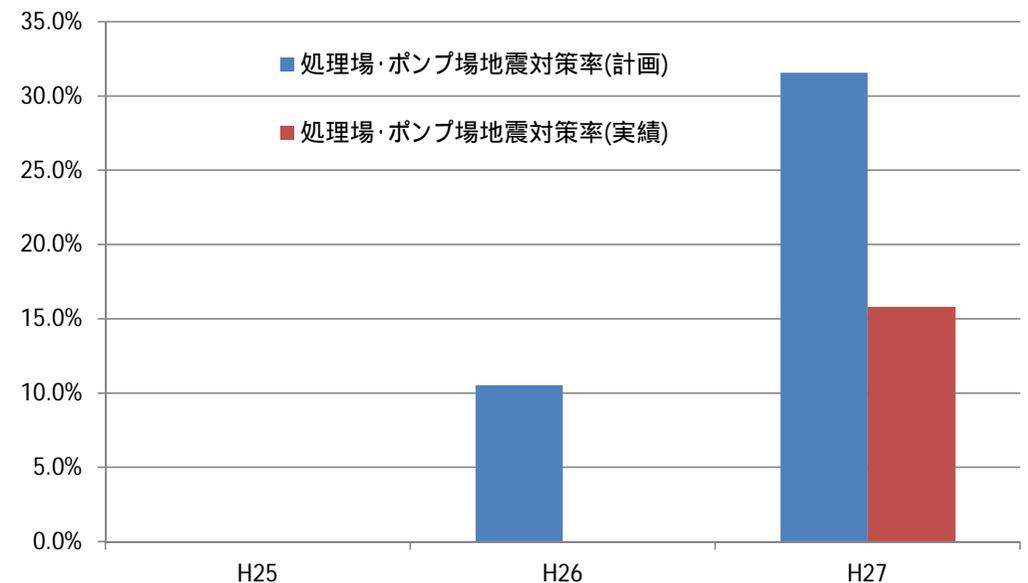
最終実績値
（H27年度末）
15.8%
（3箇所/19箇所）

● 目標値と実績値に差が出た要因

東日本大震災を受けて耐震・耐津波対策について、指針・計算例の見直し等が行われ、方針の再検討が必要と考えたため、最終目標値に至らなかった。

● 主な事業内容

- ・辻堂浄化センター水処理施設
エキスパンションジョイント補強
- ・大清水浄化センター管理棟耐震補強



2) 事後評価について

() 事業効果の発現状況に関すること

() 事業効果の発現状況に関すること

➤ 事後評価書

社会資本整備総合交付金

C 効果促進事業	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					交付事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
東部処理区																	
	C1-2-1	下水道	一般	藤沢市	直接	—	新設	湘南台西地区枝線管渠整備(雨水)	φ250~450 L=9.5km							89	
	C1-2-2	下水道	一般	藤沢市	直接	—	新設	湘南台西地区枝線管渠整備(汚水)	φ200 L=6.5km	藤沢市						79	
相模川流域処理区																	
								管渠整備(汚水)	φ200 L=0.2km	藤沢市						15	
								管渠整備(汚水)	φ200 L=4.6km	藤沢市						80	
								管渠整備(汚水)	φ200 L=0.7km	藤沢市							
											合計					263	

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 葛沼東部地区において、床上浸水被害対策を実施した結果、浸水被害の軽減が図られた。
- ・ 未普及地域において、汚水管整備を行うことにより単独浄化槽での処理から処理場での処理に変わったことから、公共用水域の水質が向上した。
- ・ 雨天時における初期汚濁を滞留し、晴天時に処理場で処理してから公共用水域に流すことにより、汚濁負荷量の削減が図られ、公共用水域の水質保全水質が向上した。
- ・ 下水道管渠の長寿命化計画を策定したことにより今後、重点地区における管渠更生工事を実施され、効果が発現する。
- ・ 長寿命化計画に基づく処理場・ポンプ場における設備工事(機械・電気)を実施することで、機能停止リスク低減等の効果が発現した。

II 定量的指標の達成状況	指標	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	備考
		目標値	実績値		
指標①床上浸水被害対策率	最終目標値	14.0%		適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。	
	最終実績値	14.0%			
指標②下水道処理普及率	最終目標値	95.2%		効率的に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。	
	最終実績値	95.4%			
指標③合流式下水道改善率	最終目標値	37.4%		適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。	
	最終実績値	37.4%			
指標④下水道管渠長寿命化計画策定率	最終目標値	66.7%		効率的に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。	
	最終実績値	66.7%			
指標⑤処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率	最終目標値	48.1%		経過年数やリスク評価(被害規模、発生確率)による判定を行った結果、優先度の高い施設から実施していったため、最終目標値を下回る値になった。	
	最終実績値	21.2%			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

財政状況の厳しさから予算の確保が難しいながらも、施設の老朽化に伴い改築・更新は行っていかなくてはならず、優先順位を付けながら必要な管渠および、機械・電気設備の改築更新を随時行っていく。

() 事業効果の発現状況に関すること

鵜沼東部地区において、床上浸水被害対策を実施した結果、浸水被害の軽減が図られた。

未普及地域において、污水管整備を行うことにより単独浄化槽での処理から処理場での処理に変わったことから、公共用水域の水質が向上した。

鵜沼東部地区において、雨天時における初期汚濁を貯留し、晴天時に処理場で処理してから公共用水域に流すことにより、汚濁負荷量の削減が図られ、公共用水域の水質保全に寄与した。

() 事業効果の発現状況に関すること

下水道管渠の長寿命化計画を策定したことにより今後、重点地区における改築工事等で、効果が発現する。

処理場・ポンプ場における長寿命化計画を策定したことにより、計画に基づく辻堂浄化センター2号焼却炉の設備工事（機械・電気）の実施で、その効果が発現する。

避難施設等からの重要な管渠が、耐震性能を有するか調査した結果、被災時における避難施設等の下水道流下機能が確保されることを確認した。

() 事業効果の発現状況に関すること

液状化の危険性の高い緊急輸送道路等におけるマンホールの調査及び浮上対策工事により、被災時にマンホールが浮上することに起因する緊急車両の通行障害が発生する恐れが少ないことを確認した。

下水道総合地震対策計画に基づく工事等を実施することにより、震災時における下水道の処理機能確保の向上が図られた。

2) 事後評価について

() 今後の方針等に関すること

() 今後の方針等に関すること

➤ 事後評価書

社会資本整備総合交付金

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
東部処理区																
C1-2-1	下水道	一般	藤沢市	直接	-	新設	湘南台西地区枝線管渠整備(雨水)	φ250~450 L=9.5km							89	
C1-2-2	下水道	一般	藤沢市	直接	-	新設	湘南台西地区枝線管渠整備(汚水)	φ200 L=6.5km	藤沢市						79	
相模川流域処理区																
C1-3-1	下水道	一般	藤沢市	直接	-	新設	遠藤地区枝線管渠整備(汚水)	φ200 L=0.2km	藤沢市						15	
C1-3-2	下水道	一般	藤沢市	直接	-	新設	御所見地区枝線管渠整備(汚水)	φ200 L=4.6km	藤沢市						80	
C1-3-3	下水道	一般	藤沢市	直接	-	新設	用田地区枝線管渠整備(汚水)	φ200 L=0.7km	藤沢市							
										合計				263		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C1-2-1	基幹事業である管渠整備と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、浸水被害の軽減を図る。															
C1-2-2	基幹事業である管渠整備と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、汚水の普及促進を図る。															
C1-3	基幹事業である管渠整備と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、汚水の普及促進を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・鶴沼東部地区において、床上浸水被害対策を実施した結果、浸水被害の軽減が図られた。
- ・未普及地域において、汚水管渠整備を行うことにより単独浄化槽での処理から処理場での処理に変わったことから、公共用水域の水質が向上した。
- ・雨天時における初期汚濁を滞留し、晴天時に処理場で処理してから公共用水域に流すことにより、汚濁負荷量の削減が図られ、公共用水域の水質保全水質が向上した。
- ・下水道管渠の長寿命化計画を策定したことにより今後、重点地区における管渠更生工事を実施され、効果が発現する。
- ・長寿命化計画に基づく処理場・ポンプ場における設備工事(機械・電気)を実施することで、機能停止リスク低減等の効果が発現した。

II 定量的指標の達成状況		最終目標値	達成率	目標値と実績値に差が出た要因	達成状況
指標①床上浸水被害対策率	最終目標値	14.0%		目標値と実績値に差が出た要因	適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
	最終実績値	14.0%			
指標②下水道処理普及率	最終目標値	95.2%		目標値と実績値に差が出た要因	効率的に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
	最終実績値	95.4%			
指標③合流式下水道改善率	最終目標値	37.4%		目標値と実績値に差が出た要因	適切に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
	最終実績値	37.4%			
指標④下水道管渠長寿命化計画策定率	最終目標値	66.7%		目標値と実績値に差が出た要因	効率的に事業執行したことから、最終目標値と同じ値になった。
	最終実績値	66.7%			
	策定率	最終実績値	21.2%	目標値と実績値に差が出た要因	経過年数やリスク評価(被害規模、発生確率)による判定を行った結果、優先度の高い施設から実施していったため、最終目標値に至らなかった。

3. 特記事項(今後の方針等)

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記載)

3. 特記事項(今後の方針等)
財政状況の厳しさから予算の確保が難しいながらも、まずは平成35年度までの時限が定められている合流式下水道改善事業を主体に行う。また施設の老朽化に伴い改築・更新は行っていかなくてはならず、優先順位を付けてながら必要な管渠、及び機械・電気設備の改築更新を随時行っていく。

() 今後の方針等に関すること

財政状況の厳しさから予算の確保が難しいながらも、まずは平成35年度までの時限が定められている合流式下水道改善事業を主体に行う。

また施設の老朽化に伴い改築・更新は行っていかなくてはならず、優先順位を付けながら必要な管渠、及び機械・電気設備の改築更新を随時行っていく。